

いい家づくり、静岡は安心のリレー

Wood Baton Pass



Second runner

製材業



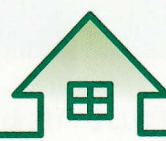
First runner

林業



Third runner

建設業



Goal

住まい手



地域材を使った家づくり。 それぞれの分野にプロがいます。 こだわり仕事のリレーで ゴールを目指します。

スタートは植林。小さな苗木が命をつないでやがて立派な木となり、住まいの資材となっていく。でも、木材だけでは家は建たない。その性質を知りつくし、その良さを最大限に引き出すことのできる人たちの力が必要です。林業、製材業、建設業と、それぞれが自分のトラックを全力で走り切り、家づくりのバトンを渡しあうとき、木はだんだん住まいの顔になり、そこに住む家族の顔になっていきます。

国土の3分の2を森林が占める日本は昔から木に寄り添って暮らしながら、自然と共生する「木の文化」を育んできました。現在の私たちが木に親しみを覚えるのも、体のどこかにそんな記憶が引き継がれているからなのではないでしょうか。

Wood Baton Pass

時代から時代へ。人から人へ。やさしさをつなぐリレー。

そのやさしさが住まう人だけでなく、環境に対しても向けられるのが地域材を使った家づくりです。ふるさとの木の活用が森林資源の循環を生み、水源をかん養し、多様な生き物を育むことにつながるからです。そんな木の活用につながる人たちの仕事ぶりをここに紹介します。

やさしさの年輪が増え広がっていくように、木の家が住まう人を幸福にできる理由に気づいてもらえたらと思います。



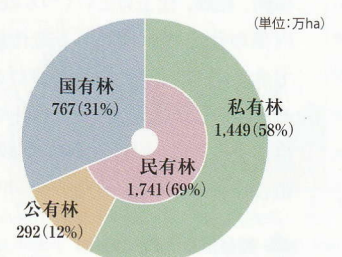
いい木材はいい森林から生まれる。 未来へ伸びゆく、しずおかの木を育てます。

昨日の雨で足場が悪い中、チェーンソーが唸り、切り倒された木が急坂を縫うように運搬車で運ばれていく。「毎日がかつい仕事です」と林業家が口を開く。森に光が入るように間伐をし、土壌を育て、木が成長できる環境を整えていくのが彼の仕事だ。苗木が一人前になるまで40～50年はかかる息の長い取り組みでもある。「危険が伴いますが、自分たちが育てた木でいい家ができるならやりがいがあります」と笑顔を見せる。いい住まいはいい木材から生まれる。まさにここが家づくりの原点。「街が猛暑でもここは涼しいですよ」。ふりそそぐできたての空気に気持ちもカラダも澄んでいくようだ。

🌲 林業の仕事とは？

人工林を管理し、植樹、下草刈り、間伐、枝打ちなどを行い、樹木が育つ環境を整えるのが仕事。現在、日本の人工林の7割は昭和30年代以降に植樹されており、ほとんどがスギやヒノキの針葉樹です。すでに伐採時期を迎えているので、林業従事者の高齢化を補うために、若い労働力が必要となっています。

森林面積の内訳



※平成24(2012)年3月31日現在の数値
 ※計の不一致は四捨五入による
 資料: 林野庁「森林資源の現況」



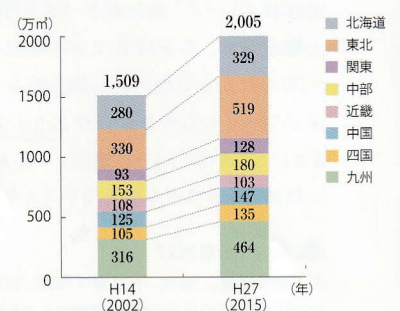
美しさと強さを引き出しながら、 原木を信頼の材へと生まれ変わらせます。

絶え間ない機械音が響き、丸太が正確に切り分けられていく。製材は皮むきに始まり、木取り、切断、乾燥、仕上げといくつもの工程が必要だ。生産される材は住宅の柱や土台となる構造材と、内部の仕上げに使われる造作材があり、そのサイズも家ごとに異なる。「木は一つ一つ違うんですよ」と製材所の担当者が口を開く。それぞれのクセや性質を見極め、いい材へと生まれ変わらせるのが仕事だと言う。「木目や風合いは木の美、強度は木の性能と言えるでしょう」。そう語る目の先には、大型の木材乾燥機がある。そこで水分を一定以下に落とされた安心の材が積み上げられ、家づくりに向けて出番を待っている。

🌲 製材業の仕事とは？

丸太を機械で、角材や板材などに製材するのが仕事。丸太は天然物であり、形状や節など、それぞれに違うので、欠点をさけて品質の高い材を生み出すためには、木取りなどの知識や加工技術が欠かせません。木造住宅が多い日本の住宅産業を支えています。

国産材生産量(地域別)の推移



資料：農林水産省「木材需給報告書」の結果をもとに林野庁で集計



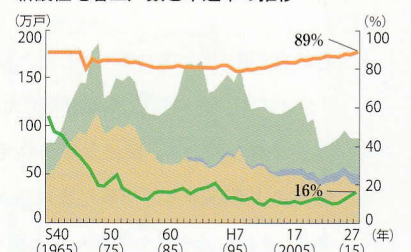
やさしさと強さを兼ね備えたしずおかの木で、 信頼の木の住まいをつくります。

構造材が組みあがった現場で作業の打合せが始まる。家づくりはまさに大工さんや左官さんといった技能を持つ職人さんたちの力の集大成。その総指揮をとるのが現場監督である。「図面の中の家が現実になっていく過程が楽しみです」と口を開く。でも、図面通りにいかないことも多いという。そんな時は現場で柔軟な対応が求められるが、そこが腕の見せ所でもある。「住まいが完成し、家族の笑顔を見た時には、数か月間の疲れも吹っ飛びます」と白い歯がのぞく。家を建てるなら同じ地域の木がいいとのこと。気候風土が変わらないので木が長持ちするらしい。この家も地域材が使われていて柱やハリ、土台からいい香りが漂ってくる。

🌲 工務店の仕事とは？

全国展開するハウスメーカーと違い、地域に密着した家づくりを行っているのが工務店です。規格化されたプランではなく注文に応じた柔軟な設計で、木材もその地域から調達することが多いのが特長。職人を束ねつつ、社長もたびたび現場に顔を出し、家族と一緒に作り上げていくのが魅力です。

新設住宅着工戸数と木造率の推移



※新設住宅着工戸数は一戸建、長屋建、共同住宅（主にマンション、アパートなど）における戸数を集計したもの
※昭和39（1964）年以前は木造の着工数の統計がない
資料：国土交通省「住宅着工統計」



木のやすらぎがいつも身近にある 家族が自然体で暮らせる住まいです。

心地良く通う風に木の香りがした。木の床に照る光がやさしい。こちらは築一年の地域材の住まい。「ジメジメしないのは、木が呼吸しているからなのでしょう」。そう目を細めるご主人のまわりを幼い息子が飛び跳ねる。家は大手の住宅メーカーで建てるものだと思っていたが、たまたま目にした地元の工務店さんの仕事にほれ込んだとのこと。自分たちはどんな暮らしをしたいのかじっくりと考え、それに合う材や間取りや仕様など、工務店と一緒に作り上げてきたそう。外の塀や二階のデッキにも木が使われていて素敵なアクセントになっている。これからも木に見守られながら、家族の暮らしを育てていくことだろう。



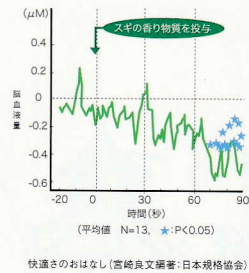
快適で健康的な暮らしを育む木の働き

木の香りでリラックス

安静効果

人間の脳波の中でα(アルファ)波はリラックスした状態に現れ、β(ベータ)波は緊張している時に見られます。仕事のストレスを解消するためにも、帰宅後はくつろげる環境をつくりたいもの。木の空間がそんな願いに添えてくれます。たとえばスギの香りをかぐと脳の前頭部の血液量が低下し、活動が静まった状態になります。木の香りにはそんな秘密が隠されていたのです。

スギの香りをかぐと脳血流が低下し、脳活動が沈静化。

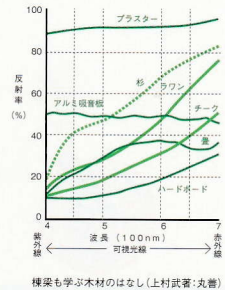


目にやさしい反射光

紫外線吸収

光には波長の長いものから短いものがありますが、注意が必要なのは波長が短い紫外線。浴びすぎると肌にダメージを与えるため、気象庁では天気予報に加えて紫外線情報も出しています。木はこの紫外線を吸収し、波長の長い赤外線をよく反射させる特性をもっています。窓から差し込む光をやさしい反射光に変えてくれるのです。

木は有害な紫外線を吸収し、赤外線を反射させる。

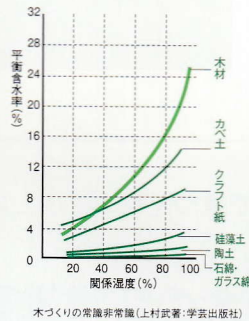


室内の湿度を一定に調節

調湿性

梅雨時のジメジメや夏の耐え切れない蒸し暑さ、逆に冬は空気が乾燥して加湿器が手放せなくなります。年間を通じて湿度変化のある日本では昔から木の家が好まれました。その理由が木の調湿効果です。湿度が高い時に水分を細胞内に吸収し、乾燥時には水分を放出。このおかげでワンランク上の快適さが生まれるのです。

木は水分の吸排出を行い、室内の湿度を調節する。

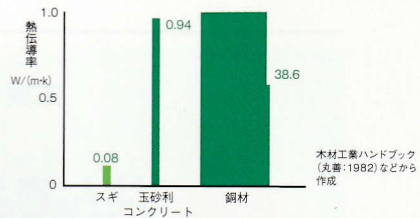


さわっても冷たくない

断熱性

金属やコンクリートにふれるとひんやり冷たく感じます。これは体温が素材の方に移動するからであり、熱を伝えやすい素材ほど、このひんやり感が強くなります。木はこれが少ないことがふれてみればわかります。木の床や壁の温もり感は木ならではの。適度な弾性がある歩きやすいのも、もう一つの利点ですね。

木は体温を奪いにくく、温もり感がある。

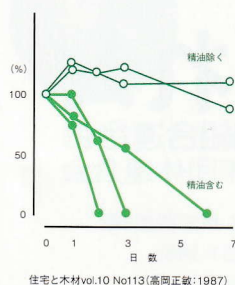


ダニの繁殖をおさえる

殺菌効果

室内でペットを飼う人が増える中、ダニやノミの問題で頭を悩ますことも増えてきました。気温や湿度が高くなると繁殖しやすくなるので、除湿機の使用や、床のこまめな掃除が欠かせません。木の床はカーペットに比べて掃除機での吸引が楽。また、木の精油の香りには殺菌効果がありダニが繁殖するのをおさえてくれます。

ヒノキ製油がダニの繁殖をおさえる。(木くずの中でダニを飼育)

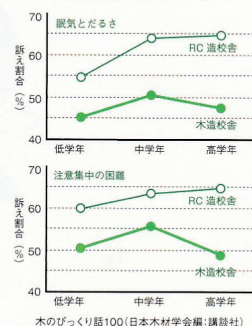


授業中の集中力がアップ

疲労低減

昔は校舎といえば木造が当たり前でしたが、いつのまにか鉄筋コンクリート造に変わってしまいました。でも今、木造校舎の良さが再評価されています。その理由が授業中の生徒を対象にした調査に表れています。木造とRC造(鉄筋コンクリート造)を比較した場合、「ねむけとだるさ」、「注意集中の困難」を訴えた生徒が木造の方が少なく、授業に適した環境であるとの結果が出ました。

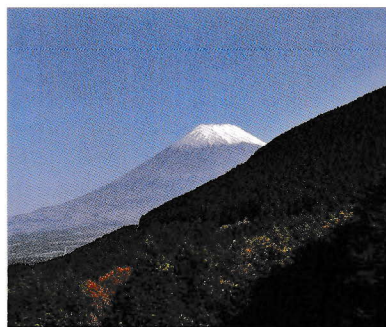
木は授業中の子供の疲労感を少なくする。





ふるさとの木を使って、 環境保全と地域経済に活力を。

たくさんの木を使うことで植林がなされ、森林資源の循環が生まれます。若い木は成長する時に二酸化炭素をよく吸収してくれるので、地球温暖化の抑制につながります。また、水源をかん養し、多様な生物が生きていく環境を作ってくれます。輸入材は輸送に燃料を使いますが、地域材ならばその分、エコロジー。そして地域の事業者を元気にする経済的な波及効果もあります。



応援します! ふるさとの木で家づくり

しずおか DRY



県産材の家づくり支援制度

住んでよし しずおか木の家推進事業

しずおか優良木材などを使い、木造住宅を新築・増改築する方に最大30万円。住宅をリフォームする方に最大10万円を助成します。詳しくは下記のサイトで。

住んでよし しずおか木の家推進事業

検索



けん木れん

企画
発行 静岡県木材協同組合連合会
静岡県木材青壮年団体連合会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-252-3168 FAX.054-251-3483
<http://www.s-mokuren.com>